

話題

街にひろう

平成19年春の叙勲

第8回危険業務従事者叙勲

受章おめでとう うざいます

長年にわたり、社会のために尽力した叙勲受章者が発表され、市内では次の方々が受章しました。



瑞宝双光章
(前牛久市教育長)
齋藤勉さん



瑞宝小綬章
(元皇宮警察本部護衛部長)
坂本貢さん



瑞宝単光章
(元東京消防庁消防司令長)
小沼哲夫さん



瑞宝双光章
(元警視庁警視)
霜山武二さん



瑞宝単光章
(元東京消防庁消防司令長)
谷仲威さん



瑞宝単光章
(元東京消防庁消防司令長)
中島博さん

夢と希望を乗せたた くさんの鯉のぼり

5月3日、すつきりとした青空の下、恒例の「第18回うしく・鯉まつり」が開催されました。

今年「空を舞う鯉のぼりに夢をのせて」思いやるやさしさで地域の触れ合いの輪を広めよう」をテーマに開催。開会式では、主催者代表の諸橋康之青少年育成牛久市民会議会長が「この鯉まつりは、牛久の子どもたちの成長を祝おうと始められました。大空を泳ぐ約300匹の鯉のぼりの下で、昔の懐かしい遊びを中心に親子や友だち、地域の交流を深めてください。牛久で育った子どもたちが大きくなって、鯉まつりを思い出し、懐かしんでもらえたらいいと思います」とあいさつ。

「魚のつかみどり」や「輪投げ」などのイベントが行われ、大勢の人でにぎわいました。



みんなの谷津田で 田植え体験



5月11日、神谷小学校の5・6年生と保護者、NPO法人アサザ基金の皆さんが参加して学校脇の谷津田で田植え作業が行われました。

子どもたちは靴の上から古くなった靴下を履き、さらに不用となった長ズボンという格好で、普段入ることの少ない田んぼの中に入りました。

松葉みな未さん(5年生)は「靴を履いていても田んぼの泥の感触が伝わってきた。小さな苗が成長して米になるなんて信じられない」と笑顔で話していました。

圏央道開通記念植樹 とタイムカプセル

圏央道「つくば牛久IC」阿見東IC間が3月10日に開通し、つくばJCT「つくば牛久IC間」の交通量は前年同期に比べ約3割増となりました。

3月3日に行われた「茨城圏央道開通記念イベント」において、牛久市から贈呈されたキンモクセイの苗木は、阿見町、つくば市の苗木と共に3月28日に牛久阿見IC内に植樹されました。(写真)

イベント参加者から募集しました「未来への手紙」を収めたタイムカプセルは、圏央道インフォメーション(牛久市柏田町3001-4)に展示しています。茨城圏央道の事業に関するお問い合わせは、国土交通省常総国道事務所
(tel)029・826・2040(まで)。



安心安全コミュニティ4団体を設立

地震などによる被害防止や軽減を図るとともに、自主的な防犯活動を行うことで、安心安全な地域をつくるため、安心安全コミュニティ4団体が設立されました。



中根小学校に設置の防災倉庫¹{

団体名	構成行政区
牛久小学校区安心安全コミュニティ	上町、下町
岡田小学校区安心安全コミュニティ	上池台、岡見、第8岡見、東岡見
中根小学校区安心安全コミュニティ	栄西、猪子、むつみ、一厚東、一厚西、大中、ひたち野、びゅうパルクひたち野
神谷小学校区安心安全コミュニティ	神谷、柏田台、女化、女化西

このコーナーでは、市民の皆さんから寄せられたイラストや俳句、川柳などを紹介しています。なお、お便りには住所と氏名、電話番号を記入してください。また、匿名希望の方はその旨記入してください。ペンネームもOKです。
あて先：〒300-1292 牛久市中央3-15-1
「広報うしくちょっと休憩」係
Eメール shimin@city.ushiku.ibaraki.jp



皆さんのお便りから

南・犬塚さん



短歌・俳句・川柳コーナー

木の芽立つ福祉の森も冴え返る

下根町・菅原さん

あやめ咲きザツパ舟見ゆ川の道

田宮・岡村さん

夕闇に木立の森で啼くフクロー

久野町・酒井さん

五月晴れ先づ大物を洗いけり

小坂町・飯塚さん

このコミュニティは、牛久小学校、岡田小学校、中根小学校、神谷小学校を第二次避難場所とする行政区で構成され、今年度から地域の安全パトロールや防災体制づくりなど各種の防災防犯対策に取り組んでいくことになっています。

また、この事業は、財団法人自治総合センターから「地域安心安全ステーションモデル事業」の指定を受け、これにより交付された補助金で上記4校内にそれぞれ防災倉庫や炊き出し用の大なべを配備しました。